

## 「消費者志向」の事例を紹介します

### 【第3回】(有)石田牧場の取組み 「地域を核とした持続可能な社会形成」

小笠原むつみ（2015年10月12日）

◆神奈川県伊勢原市にある石田牧場を見学する機会がありました。安全・安心な乳生産にとどまらず、牛の糞尿を地域で出るごみを用いて優良堆肥へと再生し販売したり、地域協働の場をつくり地域の発展へ貢献する取り組みがありました。また、地域の子ども達に教育の場を提供する酪農認定ファームの認証を受けています。地域の持続可能な発展へつなげていることが評価できます。

#### 【取組み内容の概要】

##### ・循環型牧場の仕組みを確立

牛が排泄した糞尿処理に苦勞している牧場も多いということです。その糞尿を処分するのではなく、地域の自治体のシュレッダーごみや、地域にある企業のコーヒーの出し殻を利用し優良堆肥づくりをし、販売している。

##### ・子供たちの学びの場を提供

「酪農体験を通して食といのちの学びを支援する」という酪農教育ファーム認証牧場として、地域（伊勢原市内）の小中学生の体験を受け入れている。

##### ・飼料自給の取り組み及び、情報公開

飼料畑を保有し、デントコーン栽培し、飼料の一部を自給している。また、ホームページ上で輸入飼料の種類と輸入元や自給飼料についての情報を公開している。

##### ・地域社会の繁栄に貢献

地域農家から出資を募り、地域の生産者から食材を仕入れジェラードやシフォンケーキなどを製造販売する会社を立ち上げ、地域の活性化に貢献している。

★石田牧場のホームページ

<http://www.ishidabokujo.com/index.html>